

全世界

全世界
2020 年度一般文化無償資金協力
機材計画調査（イラク）
調査結果概要

2023 年 4 月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

一般財団法人 日本国際協力システム

人間
JR
23-012

イラク共和国

スレイマニア博物館における展示、
保存及び修復のための機材整備計画

調査結果概要

目 次

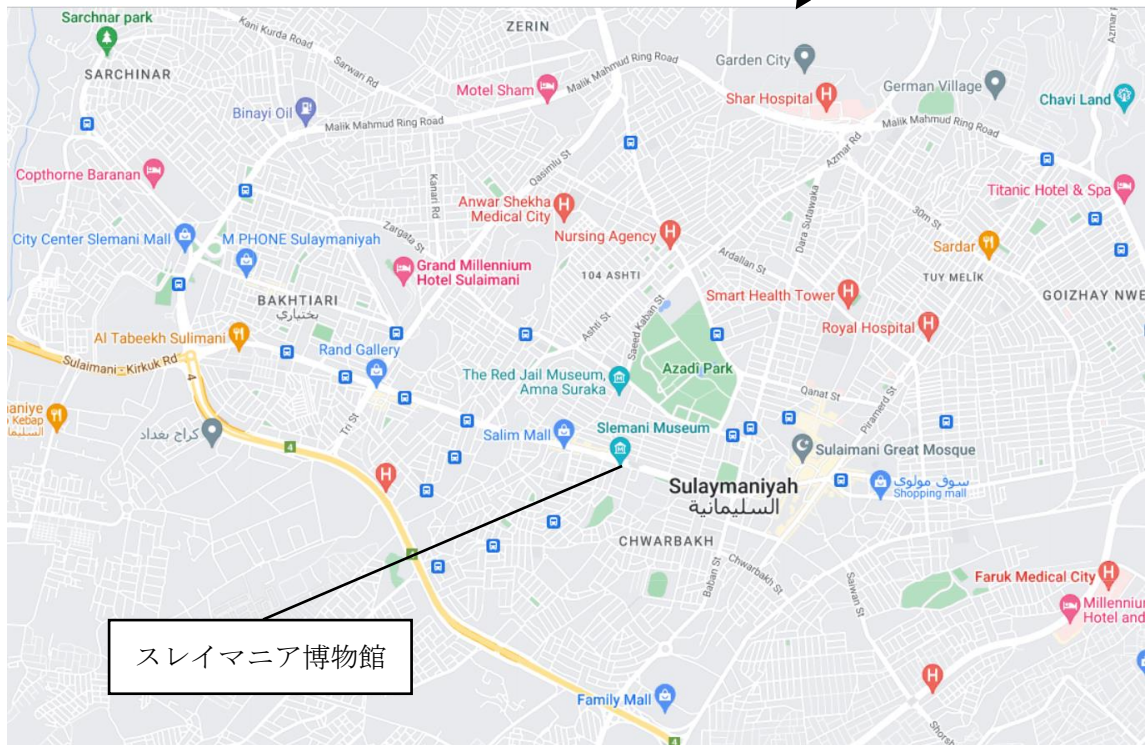
	頁
プロジェクト位置図 写真	
第1章 プロジェクトの背景・経緯.....	1
1-1 プロジェクトの背景.....	1
1-2 無償資金協力の要請内容.....	2
1-3 我が国の関連分野への協力.....	2
1-4 他ドナーの援助動向.....	3
第2章 プロジェクトを取り巻く状況.....	4
2-1 プロジェクトの実施体制.....	4
2-1-1 組織・人員.....	4
2-1-2 財政・予算.....	4
2-1-3 技術水準.....	5
2-1-4 既存施設・機材.....	6
2-2 環境社会配慮及びグローバルイシューとの関連.....	11
2-2-1 環境社会配慮.....	11
2-2-2 その他（グローバルイシュー等との関連）.....	11
第3章 プロジェクトの内容.....	12
3-1 プロジェクトの概要.....	12
3-1-1 上位計画.....	12
3-1-2 当該セクターの現状.....	12
3-1-3 プロジェクトの目的.....	14
3-2 無償資金協力による計画.....	14
3-2-1 設計方針.....	14
3-2-2 基本計画（機材計画）.....	14
3-2-3 調達計画.....	15
3-3 相手国側負担事業の概要.....	19
3-4 プロジェクトの運営維持管理計画.....	19
第4章 プロジェクトの評価.....	20
4-1 事業実施のための前提条件.....	20
4-2 機材納入のために必要となる工事等.....	20
4-3 プロジェクトの評価.....	20
4-3-1 妥当性.....	20
4-3-2 有効性.....	20
4-4 その他（広報、人材交流等）.....	21
4-4-1 相手国側による広報計画.....	21
4-4-2 その他.....	21

【資料】.....	22
1. 調査団員・氏名.....	22
2. 調査行程.....	22
3. 関係者（面会者）リスト.....	23
4. 討議議事録及び当初要請からの変更点.....	24
5. 参考資料.....	25
6. その他の資料・情報.....	25

プロジェクト位置図



(出典 : d-maps.com)



(出典 : Google マップ)

写



写真-1：スレイマニア博物館外観

真



写真-2：展示ギャラリー出入口
トラックライトシステム設置予定場所



写真-3：先史ギャラリー
米国大使館が支援



写真-4：In-Writing ギャラリー
UNESCO・イラク大統領夫人が支援



写真-5：Paikuli ギャラリー
イタリア Sapienza 大学が支援



写真-6：キッズスペース
イギリス Glasgow 大学が支援



写真-7：Uruk to Ottoman ギャラリー
展示機材設置予定場所



写真-8：Uruk to Ottoman ギャラリー
展示機材設置予定場所



写真-9 : Uruk to Ottoman ギャラリー
既存大型展示ケース



写真-10 : Uruk to Ottoman ギャラリー
既存覗き型展示ケース



写真-11 : 展示資料 (銅製スプーン)



写真-12 : 展示資料 (印章)
押印した資料と共に展示



写真-13 : Uruk to Ottoman ギャラリー奥
現在は出土品仮置き場として使用



写真-14 : 中央ホール
トラックライトシステム設置予定場所



写真-15 : 保存修復ラボラトリー
保存修復中の資料



写真-16 : 保存修復ラボラトリー
故障し使用できない既存機材 (顕微鏡)

第1章 プロジェクトの背景・経緯

1-1 プロジェクトの背景

イラク共和国（以下「イ」国という。）は、中東に位置し、イラン、トルコ、シリア、ヨルダン、サウジアラビア、クウェートの6か国と国境を接する。国土面積は約43.83万平方キロメートル（日本の約1.2倍）（外務省（2021年、CIA））、人口は約42.25百万人（2022年4月、IMF）、民族はアラブ人（シーア派約6割、スンニ派約2割）、クルド人（約2割、多くはスンニ派）、トルクメン人、アッシリア人等であり、主に公用語であるアラビア語及びクルド語が話されている。

「イ」国では、紀元前6000年頃からシュメール人が世界で最初の都市文明を興し、古代メソポタミア文明の繁栄の地となった。紀元前6世紀頃よりペルシア帝国の一部となり、7世紀以降はイスラム王朝により支配され、その後、オスマン・トルコ等の非アラブによる支配を経て、1920年から英国の委任統治を受け、1932年に王国として独立し、その後共和制に移行した。各時代の遺跡や文化財は「イ」国中に数多く点在しており、国連教育科学文化機関（UNESCO）に登録されている世界文化遺産は5件、複合遺産は1件となっているが、うち3件の文化遺産は危機遺産となっている。長く続いた戦争や武装勢力による各地での戦闘・テロにより、被害を受けた遺跡や文化財も多く、現存する遺跡や文化財の保護、修復は急務となっている。

スレイマニア博物館は、「イ」国北東部の4県にまたがるクルド民族の自治が行われているクルディスタン地域のスレイマニア県スレイマニア市に位置する。同地域ではクルディスタン地域政府（以下KRGという。）による自治が行われており、首府はエルビルにある。クルド民族は長年迫害や抑圧を受けて来たが、1992年にKRGが設立され、多くの権限が「イ」国政府から与えられており、政治、経済的に「イ」国からは半ば独立した状況になっている。また、比較的治安がよいことから、外国からの投資が入っており、経済的にも発展した。スレイマニア市は、クルド民族の歴史・文化の中心地の1つでもあり、スレイマニア博物館は、「イ」国にとっては一地方博物館ではあるものの、クルディスタン地域にとっては同地域を代表する博物館、文化施設である。

スレイマニア博物館は1959年にシャクラワで開催された会議にて、1958年7月14日革命の3周年を記念して、スレイマニアに新たな博物館を設立するように勧告されたことを受け、1961年7月に小民家に設立された。設立当初は古代メソポタミアの出土品を写真や遺跡の地図とともに時系列で展示し、博物館の隣には考古学と歴史関連書籍を所蔵する図書館が設置された。1979年に民家ではなく専用博物館を建設する目的で現在の場所が選定され、1980年に現在の博物館が完成・開館した。1980年から1988年はイラン・イラク戦争により閉館され、その後一時再開館したが、続くクウェート侵攻、湾岸戦争等により閉館を余儀なくされ、2000年8月から再開館している。同博物館には、様々な遺跡等から出土した紀元前からの時代を含む石器、土器、陶器、石碑、テラコッタ、レリーフ等の様々な貴重な考古資料が収蔵・展示されている。日本の調査隊が現在スレイマニア県にて発掘調査を行っており、その遺跡からの出土品も同博物館に収蔵・展示されている。来館者は主に学校教育にて訪れる子供たちや考古学や歴史学を専攻する学生、行事にて訪れる幼稚園児であり、これら若い世代にクルディスタン地域の歴史・文化を伝える教育の場ともなっている。同博物館は米国大使館等の支援により、先史時代の展示スペース等が改修されたものの、「イ」国政府及びKRGが十分な

予算を確保できないため、ウルク期（紀元前 3500 年頃から）以降の展示ギャラリー（Uruk to Ottoman ギャラリー）については、1980 年の開館当時のままとなっており、展示ギャラリーの改修が必要な状況である。また、保存修復、収蔵に係る機材も整備されていないため、収蔵資料の保存・活用のための十分な活動ができていない状況となっている。

こうした背景から、スレイマニア博物館の重要な考古資料を展示、保存及び修復するために必要な機材を整備することにより、同博物館の展示及び保存修復の質を向上させ、クルディスタン地域の文化財保護促進と教育セクターの発展に寄与することを目的として、「イ」国政府は機材整備に必要な資金協力を我が国に要請した。

1-2 無償資金協力の要請内容

(1) 要請年月：2022 年 12 月

(2) 要請金額：70 百万円

(3) 要請内容：

- 展示ギャラリーの展示用資機材（展示ケース、展示棚、トラックライト、調光システム等）、3D 映像投影用のプロジェクターセット
- 考古遺物の保存用資機材（保存ケース、保存棚、修繕用器具）
- 展示物を紹介するための資機材（展示パネル等）
- 考古学調査に必要な測量機材（トータルステーション、ドローン等）
- 遺物研究のためラボ機材（顕微鏡等）

1-3 我が国の関連分野への協力

過去の我が国による文化財分野に関連した協力実績は表-1 のとおりである。

表-1 我が国の協力実績

協力内容・機関名	実施時期	案件名	事業費	概要
課題別研修 (JICA・国立民族学博物館)	2021 年度	博物館とコミュニティ開発コース（1 名参加）	-	博物館専門家向けの収集・整理・保存・展示・教育に関する実践的な技術を修得し、博物館を通じた開発途上国の観光開発や地域・文化振興に積極的に貢献できる人材の育成
中部大学	2020～ 2021 年度	文化庁委託業務「イラク・クルディスタン地域における文化遺産国際協力拠点交流事業」	-	人材育成への支援、音声ガイドの拡充、ガイドブックの増刷、写真パネル展の開催等
中部大学	2018～ 2019 年度	文化庁委託業務「イラク・クルディスタン自治区における文化遺産の保護と活用に関する国際貢献事業」	-	文化遺産の研修、ガイドブックの作成、同博物館の館長や保存修復部部長を日本へ招へい等

協力内容・機関名	実施時期	案件名	事業費	概要
中部大学、筑波大学、国士館大学等	2016年～	ヤシン・テペ考古学プロジェクト	-	ヤシン・テペ遺跡における発掘調査
筑波大学等	2018年～	チャルモ（ジャルモ）遺跡プロジェクト	-	チャルモ（ジャルモ）遺跡における発掘調査
ユネスコ 日本信託基金	2004～2011年度	文化遺産保存支援事業	-	イラク国立博物館に対する修復ラボラトリーの再建、人材育成

(出典：スレイマニア博物館資料、国立民族学博物館、中部大学、筑波大学、外務省)

1-4 他ドナーの援助動向

スレイマニア博物館に対する他ドナーが実施した協力事業は次の表-2 のとおりである。その他にも共同研究等、他ドナーや他国との協力関係は多岐に亘る。

表-2 他ドナーのスレイマニア博物館への協力実績

国名・機関名	年度	内容（案件名）	金額
イラク・Revival of Kurd's Heritage Organization	2022	緊急支援（木箱、亜鉛メッキ箱）	不明
イラク・Revival of Kurd's Heritage Organization	2020～2022	博物館データベース開発	不明
米国・メトロポリタン美術館	2020～2022	写真撮影機材の供与、写真撮影の技術指導、博物館収蔵資料のカタログ作成	不明
イタリア・Sapienza 大学	2021	Paikuli ギャラリーの整備支援（フェーズ2）	不明
イタリア・Sapienza 大学	2019	Paikuli ギャラリーの整備支援（フェーズ1）	不明
英国・Reading 大学	2019	スマートウォータープロジェクト（博物館資料へのスマートウォーターの利用）	不明
英国・Glasgow 大学及びパートナー	2019	キッズスペース整備	不明
米国・在バグダッド米国大使館	2018	先史ギャラリーの整備	50,000 米ドル
UNESCO 及びイラク大統領夫人（Hero Ibrahim Ahmed 氏）	2012	In-Writing ギャラリーの整備	700,000 米ドル

(出典：スレイマニア博物館資料)

第2章 プロジェクトを取り巻く状況

2-1 プロジェクトの実施体制

2-1-1 組織・人員

スレイマニア博物館は、KRG 自治観光省傘下にある公立博物館である。KRG 自治観光省は、クルディスタン地域の道路、上下水道、観光や遺跡の保護等に係る政策の実施を担っている。同省文化財総局が、博物館や遺跡を所掌しており、県ごとに文化財局を有する。スレイマニア文化財局は、スレイマニア博物館の裏手に位置する。

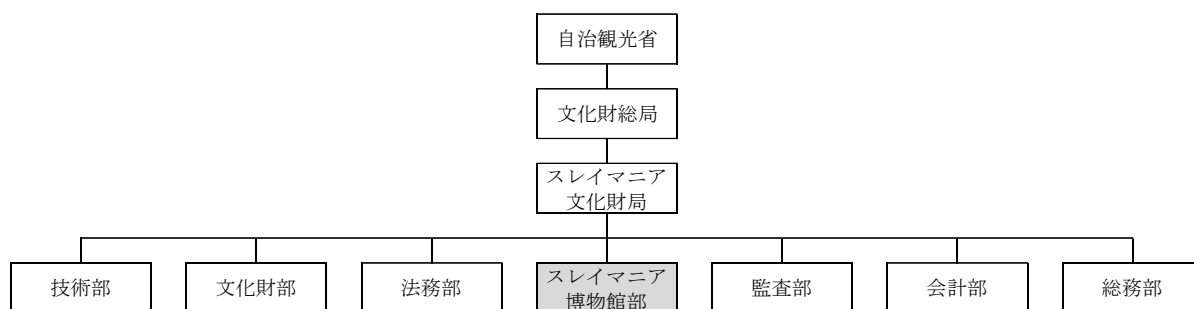


図-1 スレイマニア文化財局組織図

(出典：スレイマニア博物館資料)

スレイマニア博物館のスタッフは27名であり、館長を責任者として、登録部、収蔵部、保存修復部、展示部、教育部を有しているが、スタッフは様々な業務を横断的に実施している（2022年9月現在）。組織図は図-2のとおりである。

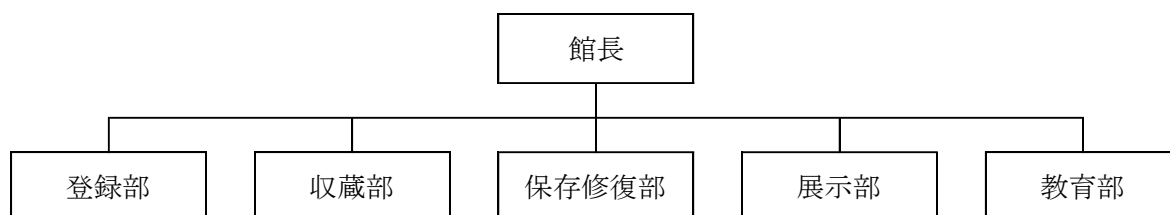


図-2 スレイマニア博物館組織図

(出典：スレイマニア博物館資料)

2-1-2 財政・予算

KRG 自治観光省の予算は、自治、上下水道、観光、文化財分野に分かれており、自治、上下水道に係る部門からの歳入はあるが、観光部門からの歳入はわずかであり、文化財部門からの歳入はほとんどない。

スレイマニア博物館が属するスレイマニア文化財局は、文化遺産である建物のレンタル料により

収入を得ているが、その収入は全て KRG に納めており、支出は KRG から配賦された予算のみから賄っている。

スレイマニア博物館の予算は、スレイマニア文化財局を通じて得た KRG からの配賦予算のみで、自己収入はない。入館料は無料である。配賦予算は博物館スタッフの給与が主であり、時により資機材購入費や維持管理費が配賦される。また、給与も全額が配賦されない場合もあり、財政状況は良好とはいえない。そのため、修理等の必要が生じた際には、民間企業等の支援を得る場合もある（2022年9月現在実施中の電気工事は民間インターネット会社の支援によるもの）。なお、水道光熱費は公共セクターにおいては無料となっている。今回の整備機材で恒常的に維持管理費を要するものはなく、消耗品の購入として年間最高 300 米ドル程度必要となると想定しており、必要な際はスレイマニア文化財局に予算を申請し配賦を受ける想定である。

KRG の予算年度は 1 月 1 日から 12 月 31 日までである。スレイマニア文化財局は、通常 12 月に財務報告書を KRG 自治観光省に提出し、次年度の予算を申請する。

2-1-3 技術水準

本事業で整備される機材は、主に展示ギャラリー、収蔵庫及び保存修復ラボラトリーで使用される展示、保存及び修復機材である。スレイマニア博物館スタッフ全員が、館長及び館長代理のもと、使用・維持管理を行う。電気関連については、スレイマニア文化財局の電気技師が維持管理を実施する。本事業にて整備される機材は特段複雑で高度な技術を有するものはないため、日常的な使用・操作・維持管理について大きな問題はない。

表-3 スレイマニア博物館機材使用者・維持管理者リスト

2022年9月時点 担当業務	職名	専門分野	経験 年数	主な担当機材
館長	筆頭考古学者	考古学	27年	全て
収蔵（館長代理）	考古学者	考古学	13年	展示機材、収蔵機材
登録	筆頭考古学者	考古学	35年	展示機材
登録	考古学者	考古学	9年	展示機材
登録	考古学者	考古学	11年	展示機材
収蔵	考古学者	考古学	14年	展示機材、収蔵機材
データベース	考古学者	考古学	13年	展示機材
データベース	考古学者	考古学	9年	展示機材
データベース	通訳者	文学	24年	展示機材
データベース	監視員	歴史学	9年	展示機材
写真	考古学者	考古学	8年	展示機材
ガイド	技術者	電気	18年	展示機材
保存修復ラボラトリー	彫刻家	美術	27年	保存修復機材
写真	監視員	科学	9年	展示機材
写真	考古学者	考古学	13年	展示機材
写真	監視員	歴史学	9年	展示機材
ガイド	監視員	-	28年	展示機材

2022年9月時点 担当業務	職名	専門分野	経験 年数	主な担当機材
登録	筆頭考古学者	考古学	24年	展示機材
データベース	考古学者	考古学	15年	展示機材
写真	考古学者	考古学	13年	展示機材
ガイド	監視員	-	21年	展示機材
ガイド	監視員	-	15年	展示機材
ガイド	技術者	電気	18年	展示機材
登録	考古学者	考古学	17年	展示機材
サービス	清掃員	-	12年	展示機材
サービス	清掃員	-	12年	展示機材
ガイド	技術者	機械	18年	展示機材

(出典：スレイマニア博物館資料)

2-1-4 既存施設・機材

(1) 既存施設

スレイマニア博物館はスレイマニア市の中心部に位置し、周辺には公園、バザール、レストラン等があり、多くの人々が集まるエリアにある。

同博物館の現在の建物は、1980年に完成・開館した。1階は展示ギャラリー、キッズスペース、オフィス、保存修復ラボラトリーに使用され、収蔵庫は地下に位置する。また、1階展示ギャラリーの中央部は、ホールとして使用されている。

同博物館とスレイマニア文化財局の電源室は、老朽化のため、2022年9月現在、改修工事が行われており、9月中に工事が完了する予定となっている。電気が使用できないため、博物館は一時期閉館されていたが、9月26日からは発電機を使用して開館した。

同博物館には貴重な資料が数多く収蔵されているため、CCTVシステムが設置されている。電力が不安定であり、停電が頻発するため、24時間稼働が必要なCCTVシステムは、太陽光パネルを利用しており、24時間監視が可能なシステムとなっている。また、国家警察が常駐しており、厳重な警備体制が敷かれている。

スレイマニア博物館のレイアウトは図-3のとおりである。

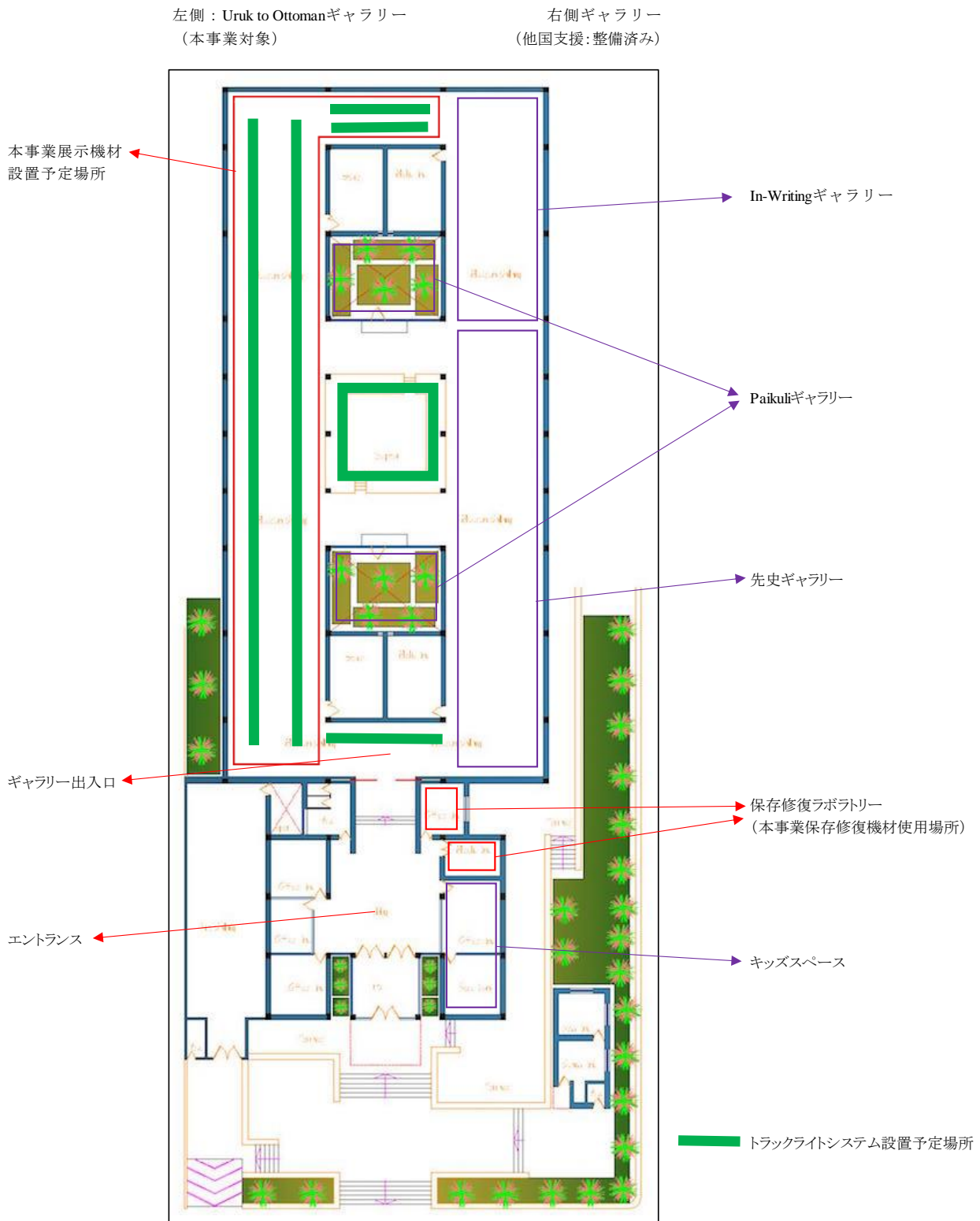


図-3 スレイマニア博物館レイアウト

(出典：スレイマニア博物館資料)

スレイマニア博物館の主な施設は表-4 のとおりであり、本事業では主に Uruk to Ottoman ギャラリー、中央ホール、収蔵庫及び保存修復ラボラトリーの機材を整備する。

表-4 施設状況

フロア	場所	用途	備考	本事業対象
1階	エントランス	受付		○
	オフィス	博物館スタッフの作業スペース	オフィスの移転スペースが決まれば、ヤシン・テペ遺跡用の展示スペースとして使用予定	
	キッズスペース	子供の学習用スペース	英国 Glasgow 大学及びパートナーが支援	
	ギャラリー出入口	展示ギャラリーへの出入口		○
	先史ギャラリー	先史時代資料を展示	米国大使館が支援 筑波大学等が行っているチャルモ（ジャルモ）遺跡出土品含む	
	In-Writing ギャラリー	文字関連の考古資料を展示	UNESCO 及びイラク大統領夫人支援が支援	
	Paikuli ギャラリー（2か所）	Paikuli 遺跡資料を展示	イタリア Sapienza 大学が支援	
	Uruk to Ottoman ギャラリー	ウルク時代以降の考古資料を展示	奥のスペースは出土品の仮保管スペースとなっている	○
	中央ホール	イベント等を実施するスペース		○
	保存修復ラボラトリー	保存修復作業		○
地下	収蔵庫	資料保管	限られたスタッフのみ入ることができる	○

（出典：スレイマニア博物館資料）

(2) 既存機材

スレイマニア博物館が保有する本事業に関連する既存機材は表-5のとおりである。

Uruk to Ottoman ギャラリー以外は、様々なドナーにより改修されているが、Uruk to Ottoman ギャラリーは開館当時のままの老朽化した展示ケースが使用されている。また、照明も一般的な照明が使用されており、博物館用の照明ではないため、資料に影響を与えにくい照明に更新する必要がある。

収蔵庫には、収蔵資料の保管や運搬のための最低限の機材が整備されているが、収蔵庫内の空気を浄化するための機材は整備されていない。

保存修復ラボラトリーには、拡大鏡等が整備されているが、一部機材については故障し、使用できず、十分な保存修復作業ができない状況となっている。

表-5 既存機材リスト

No.	機材名	数量	使用頻度	据付・保管場所	*状態	備考
1	展示ケース	23	毎日	先史ギャラリー	A	米国大使館支援
2	スポットライト	66	毎日	先史ギャラリー	A	米国大使館支援
3	説明用パネル	11	毎日	先史ギャラリー	A	米国大使館支援
4	エアコン	3	毎日	先史ギャラリー	A	米国大使館支援
5	展示ケース	12	毎日	In-Writing ギャラリー	A	UNESCO 及びイラク大統領夫人支援
6	展示台	7	毎日	In-Writing ギャラリー	A	UNESCO 及びイラク大統領夫人支援
7	スポットライト	51	毎日	In-Writing ギャラリー	A	UNESCO 及びイラク大統領夫人支援
8	説明用パネル	4	毎日	In-Writing ギャラリー	A	UNESCO 及びイラク大統領夫人支援
9	エアコン	1	-	In-Writing ギャラリー	C	UNESCO 及びイラク大統領夫人支援
10	展示ケース	2	毎日	Paikuli ギャラリー	A	イタリア Sapienza 大学支援
11	展示棚	1	毎日	Paikuli ギャラリー	A	イタリア Sapienza 大学支援
12	展示台	3	毎日	Paikuli ギャラリー	A	イタリア Sapienza 大学支援
13	スポットライト	45	暗い時	Paikuli ギャラリー	A	イタリア Sapienza 大学支援
14	説明用パネル	18	毎日	Paikuli ギャラリー	A	イタリア Sapienza 大学支援
15	エアコン	2	毎日	Paikuli ギャラリー	A	イタリア Sapienza 大学支援
16	大型展示ケース	26	毎日	Uruk to Ottoman ギャラリー	B	老朽化
17	覗き型展示ケース (2種類)	15	毎日	Uruk to Ottoman ギャラリー	B	老朽化
18	スポットライト	32	毎日	Uruk to Ottoman ギャラリー	A/B/C	半数近くが故障中、一部老朽化
19	エアコン	4	毎日	Uruk to Ottoman ギャラリー	A/C	1台故障中
20	モニター	1	毎日	キッズスペース	A	英国 Glasgow 大学及びパートナー支援
21	出張キット	3	毎日	キッズスペース	A	英国 Glasgow 大学及びパートナー支援
22	スポットライト	10	毎日	キッズスペース	A	英国 Glasgow 大学及びパートナー支援
23	プロジェクター	1	毎日	中央ホール	A	
24	スクリーン	1	毎日	中央ホール	A	

No.	機材名	数量	使用頻度	据付・保管場所	*状態	備考
25	スピーカー	1	毎日	中央ホール	A	
26	PC	1	毎日	中央ホール	A	
27	トロリー	1	毎日	収蔵庫	A	
28	はしご式昇降台	1	毎日	収蔵庫	A	
29	収蔵箱	多数	毎日	収蔵庫	A	
30	PC	2	毎日	収蔵庫	A	
31	ドローン	1	時々	収蔵庫	A	
32	照明付拡大鏡	2	資料による	保存修復ラボラトリー	A	
33	小型顕微鏡	1	資料による	保存修復ラボラトリー	A	
34	実体顕微鏡	1	-	保存修復ラボラトリー	C	
35	温熱器	1	資料による	保存修復ラボラトリー	A	
36	PC	1	毎日	保存修復ラボラトリー	A	
37	フラスコ等実験器具	1	資料による	保存修復ラボラトリー	A/B	
38	データロガー	2	毎日	保存修復ラボラトリー	A	
39	デスクトップPC	1	毎日	エントランス	A	
40	スポットライト	18	毎日	エントランス	A	
41	デスクトップPC	4	毎日	オフィス	A	
42	ラップトップPC	2	毎日	オフィス	A	
43	カメラ	4	毎日	オフィス	A	一部は米国メトロポリタン美術館支援
44	小型スタジオ	2	毎日	オフィス	A	米国メトロポリタン美術館支援
45	スポットライト	26	毎日	オフィス	A	
46	太陽光パネル式CCTV	1	毎日	警備室、展示ギャラリー、屋上等	A	
47	緊急用収蔵箱	多数	未使用	倉庫、ギャラリー奥仮置き場	A	Revival of Kurd's Heritage Organization 支援

(出典：スレイマニア博物館資料)

2-2 環境社会配慮及びグローバルイシューとの関連

2-2-1 環境社会配慮

本事業を実施することにより環境や社会に重大で望ましくない影響を及ぼす可能性はなく、また本事業実施対象地域で住民生活に好ましくない影響を及ぼすこともない。JICA の環境社会配慮ガイドラインでは、環境や社会への望ましくない影響が最小限かあるいはほとんどないと考えられる協力事業として、カテゴリーC に分類される。

2-2-2 その他（グローバルイシュー等との関連）

特になし。

第3章 プロジェクトの内容

3-1 プロジェクトの概要

3-1-1 上位計画

「イ」国政府は「国家開発計画 2018-2022」を発表しており、「8.6 文化・観光・遺産保護」において、「歴史・文化遺産の保護及び遺跡の再生」を重点事項のひとつに掲げている。また、文化及び遺産への観光客の増加による「観光の GDP への貢献」も重点事項のひとつとしている。2022 年 10 月に発足した新政権の政府プログラムでは、高品質な教育機会の提供のための教育及び高等教育システムの達成、遺跡等への投資を通じた観光資源化による観光セクター開発・雇用創出を掲げている。KRG は、現政権の公約の中で、教育スタンダードの改善、文化意識の向上、高等教育の強化を掲げており、本事業の実施は、教育の質の向上や文化財保護に貢献するものである。従って同事業は、「イ」国政府及び KRG の上位計画に沿ったものといえる。

また、本事業は、SDGs ターゲット 4.7 で掲げる「文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育」並びに 11.4 「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全」に貢献するものである。

我が国の「対イラク共和国 国別開発協力方針」（2017 年 7 月）においては、重点分野（中目標）に「生活基盤の整備」を掲げられており、スレイマニア博物館の整備により人材育成に貢献することから、同中目標に該当する。また、重点分野（中目標）に「経済成長のための産業の振興と多角化」を掲げており、クルディスタン地域の文化財・遺産保護により地域活性化を図ることができることから、同中目標にも資する協力として位置づけられる。

3-1-2 当該セクターの現状

スレイマニア博物館は、1961 年に小民家に設立され、1980 年に現在の場所に博物館が完成・開館した。スレイマニア市の中心部に位置し、様々な遺跡発掘サイト等から出土した紀元前からの複数の時代を含む石器、土器、陶器、石碑、テラコッタ、レリーフ等の様々な貴重な考古学的遺物が収蔵・展示されている。同博物館のギャラリーは、「先史」、「In-Writing」、「Paikuli」、「Uruk to Ottoman」の 4 つに分かれている。先史ギャラリーは在バグダッドの米国大使館が、In-Writing ギャラリーは UNESCO 及びイラク大統領夫人 (Hero Ibrahim Ahmed 氏) が、Paikuli ギャラリーはイタリアの Sapienza 大学が支援している。また、入り口近くには、イギリスのグラスゴー大学の支援によりキッズスペースが設けられている。

同博物館は、「イ」国の平日である日曜日から木曜日の 9 時から 13 時まで開館されており、入館料は無料である。ビジネスアワー時の開館のため、同博物館の来館者は、主に学校教育による子供たちや考古学や歴史学を専攻する学生である。「イ」国では、大学入学までに一度は博物館を訪れることが義務付けられているため、スレイマニア市内や市外から学校行事にて子供たちが数多く訪れている。また、幼稚園児も行事にて同博物館を訪れる。クルディスタン地域外からの来館者はイラク南部地域やイランからの観光客である。過去 5 年間及び今年度の来館者数は表-6 のとおりである。

表-6 来館者数

訪問目的	来館者種類	来館者数（人）					
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
展示ギャラリー見学	クルド人	1,357	1,472	-	895	550	720
	クルド人・外国人グループ	-	-	-	-	1,317	-
	外国人	170	181	-	259	87	310
	生徒・学生（幼稚園児含む）	2,040	1,775	-	960	230	6,618
	合計	3,567	3,428	0	2,114	2,184	7,648

* 2019年は先史ギャラリー整備のため閉館

* 2020年3月から8月、2021年11月15日から12月まではCOVID-19により閉館

* 2022年は5月までのデータ

（出典：スレイマニア博物館資料）

キッズスペースには、模擬発掘ができる体験スペースやゲーム等ができる大型スクリーンが整備されており、子供たちが楽しみながら学べるスペースとなっている。また、出張キットも用意されており、博物館スタッフや学校の先生が授業で使用することができる。生徒や幼稚園児が見学に訪れた際には、展示ギャラリー見学の休憩時に中央に設けられているホールにて簡単な説明ビデオ等を視聴してもらう等、積極的に教育活動を行っている。

また、同博物館では、警察、空港職員、警備職員、森林警察向けに文化財不法取引に関するワークショップを実施している。COVID-19蔓延前までは、同博物館内の中央ホールにて学術ワークショップや会議、アーティストによる活動等が行われていた。

同博物館には、現地または外国の発掘隊が発掘した出土品や、地域住民が自分の土地等で発見した出土品、不法取引で検挙され警察等から持ち込まれた資料が新しく持ち込まれ、登録されている。

同博物館は、先史時代からイスラム時代までの貴重な考古コレクションを有しており、資料数は約64,400点である。うち約1,900点はギャラリーで展示されており、その他は収蔵庫にて管理されている。同博物館が保有している資料は表-7のとおりである（2022年9月時点）。同博物館は都度展示替えをしており、展示資料の種類や数は時期により異なる。なお、これら約64,400点の資料のうち、現在約90%がデータベースに登録されており、各収蔵資料の情報や写真が掲載されているが、外部に公開する予定はない。

表-7 博物館資料数

展示・収蔵場所	種類	主な材質	点数
キッズスペース	複製資料(タブレット(銘板)、陶器、像、ネックレス、貝、骨等)	粘土、ガラス、象牙、石、金属、金	100
先史ギャラリー	陶器、骨、ネックレス、殻、ビーズ、火打石、像	石、粘土、骨	340
In-Writing ギャラリー	銘板、陶器、硬貨、火打石	粘土、ガラス、象牙、石、金属、骨	130

展示・収蔵場所	種類	主な材質	点数
Paikuli ギャラリー	碑銘、像、硬貨	石、金属	181
Uruk to Ottoman ギャラリー	陶器、硬貨、タブレット、スタンプ、像、ネックレス、武器、複製品	粘土、ガラス、象牙、石、金属、金	1,138
収蔵庫	陶器、硬貨、タブレット、スタンプ、像、アクセサリー、武器、石製品、骨、殻、複製品	粘土、ガラス、象牙、石、金属、金、骨	62,511
計			64,400

(出典：スレイマニア博物館資料)

収蔵資料が保管されている収蔵庫は地下に位置し、登録番号が付された収蔵資料が保管されている。収蔵資料のほとんどは遺跡から出土したものであり、処理はされたものの、一部臭いやガスを発しているものも含まれており、他の収蔵資料や博物館スタッフの就業環境にも悪影響を与えている。

保存修復ラボラトリーでは、保存修復作業を行っている。同博物館の収蔵資料や他機関等から依頼された資料の保存修復作業を行っているが、ほとんど機材を有しておらず、非常に基礎的な作業のみしかできない状況となっている。

3-1-3 プロジェクトの目的

本事業は、スレイマニア博物館の展示、保存及び修復に必要な機材整備を行うことにより、同博物館の展示と保存修復の質向上を図り、クルディスタン地域の文化財保護の促進と教育セクターの発展に寄与することを目的とする。

3-2 無償資金協力による計画

3-2-1 設計方針

本事業は、上記の貴重な資料を有するスレイマニア博物館に対し、展示、保存及び修復機材を整備するものであり、「イ」国政府の要請内容と現地調査及び協議の結果を踏まえて、以下の方針に基づき計画する。

- (1) スレイマニア博物館が「イ」国クルディスタン地域の中心的な博物館として活動するために必要な機材を選定する。
- (2) 同博物館のスペース及び既存機材に照らし合わせ、適正な種類・数量とする。
- (3) スタッフの技術レベルに鑑み、使用・運用・維持管理が比較的容易な機材内容とする。

3-2-2 基本計画（機材計画）

上記設計方針に基づき、各種機材の使用目的、スレイマニア博物館の要望等を勘案の上、計画対象機材の選定を行った。各機材の具体的な選定方針は次のとおりである。

- (1) 展示機材：Uruk to Ottoman ギャラリーの展示機材を整備する。展示ケース及び展示台セットについて、展示資料の大きさ、材質を考慮したタイプを複数選定する。また、地震による被害や幼稚園児を含む小さな子供に対しても安全な構造の展示ケースを選定する。照明について

- は、他のギャラリーと同様のトラックライトシステムとし、博物館仕様のライトを選定し、Uruk to Ottoman ギャラリーから続くギャラリー出入口付近、中央ホールの照明も含める。
- (2) 収蔵機材：収蔵庫内で使用するための空気清浄機を選定し、収蔵庫内では資料の運搬を行うため、空気清浄機の位置を動かす必要があることから、可搬型のものを選定する。
- (3) 保存修復機材：多くの作業工程で必要となる機材、収蔵する資料の保存修復作業で多く使用する機材を選定する。
- (4) 主に電源を必要とする機材に対し初期操作および日常メンテナンスに係る研修を計画し、運用・維持が確実に出来るようにする。

本事業の整備機材の用途、設置・保管場所は表-8 のとおりである。

表-8 機材活用計画

分類	機材番号	機材名	数量	用途	設置・保管場所	頻度
展示	1	行灯型展示ケース	10 式	資料の展示	Uruk to Ottoman ギャラリー	毎日
	2	覗き型展示ケース	27 式	資料の展示	Uruk to Ottoman ギャラリー	毎日
	3	展示台セット	3 式	資料の展示	Uruk to Ottoman ギャラリー	毎日
	4	免震台	2 台	展示資料の転倒防止	Uruk to Ottoman ギャラリー	毎日
	5	トラックライトシステム	1 式	資料の展示	Uruk to Ottoman ギャラリー、ギャラリー出入口、中央ホール	毎日
	6	ビデオモニター	4 式	説明用映像資料の上映	Uruk to Ottoman ギャラリー、エントランス	毎日
収蔵	7	空気清浄機	1 式	収蔵庫内の空気の清浄	収蔵庫	毎日
保存修復	8	蒸留水製造装置	1 台	蒸留水の製造	保存修復ラボラトリー	作業による
	9	電気窯	1 台	資料の保存修復作業	保存修復ラボラトリー	作業による
	10	実体顕微鏡	1 式	資料の観察、保存修復作業	保存修復ラボラトリー	作業による
	11	恒温乾燥器	1 台	資料の保存修復作業	保存修復ラボラトリー	作業による

(出典：スレイマニア博物館資料)

「イ」国の電圧は、単相 AC220V、三相 380V、周波数は 50Hz、博物館で使用しているプラグは BF タイプである。

3-2-3 調達計画

(1) 資機材等調達先

本事業における資機材等調達先は表-9 のとおりである。現状、日本調達を想定しており、原産国に

については、第三国製品となる可能性がある。

表-9 資機材等調達先

機材 番号	機材名	数量	調達国			備考 (想定国・地域)
			現地	日本	第三国	
1	行灯型展示ケース	10 式		○		日本
2	覗き型展示ケース	27 式		○		日本
3	展示台セット	3 式		○		日本
4	免震台	2 台		○		日本
5	トラックライトシステム	1 式		○		DAC 諸国、中国、台湾
6	ビデオモニター	4 式		○		DAC 諸国、ASEAN 諸国、中国、台湾
7	空気清浄機	1 式		○		DAC 諸国、中国
8	蒸留水製造装置	1 台		○		DAC 諸国
9	電気窯	1 台		○		DAC 諸国
10	実体顕微鏡	1 式		○		DAC 諸国、中国
11	恒温乾燥器	1 台		○		DAC 諸国

(2) 輸送計画

本事業で調達される機材の輸送は、日本側の経費負担により、調達契約業者が「イ」国内プロジェクトサイトまで行う。

日本で調達される機材はコンテナ詰めされ、横浜あるいは東京など京浜地区の主要港から海上輸送され、近隣国の港で陸揚げされる。港で通関後、「イ」国クルディスタン地域スレイマニア市内のサイトであるスレイマニア博物館まで陸上輸送される。第三国にて調達される機材についても、それぞれの国から海上輸送されることを想定する。イラク連邦内の港を使用した場合は、免税手続き等が煩雑になることが予想されることから、近隣国の港を使用することを想定する。

日本の港までの輸送及び検査・通関等に約 15 日間、日本からの海上・内陸輸送に約 50 日間、「イ」国内での通関等に要する期間を含め、その他諸手続きを考慮し、全体で 3 か月程度を要する。

(3) E/N、G/A

交換公文（以下、「E/N」という。）及び贈与契約（以下、「G/A」という。）の署名者は確認中。E/N 及び G/A とともに国会承認や閣議承認は必要ない。

(4) B/A、A/P

銀行取極め（以下、「B/A」という。）はKRG自治観光省が締結先で、支払い授權書（以下、「A/P」という。）も同省が発行することを確認した。A/Pに係る費用も同省が負担する。

(5) 免税・通関手続き

本事業で調達される日本あるいは第三国から輸入した機材に係るクルディスタン地域における関税は免税である。免税手続きは、契約業者がカバーレターとともに必要書類（インボイス、パッキングリスト、輸送書類、調達契約写し（クルド語へ翻訳）、E/N及びG/A写し）をKRG自治観光省に提出する。同省が免税依頼レターを内務省に発出し、内務省は通関当局に免税許可のレターを発行する。免税手続きの所要日数は最低約2週間である。なお、同手続きを待てずに至急の通関が必要な場合は、契約業者と自治観光省が事前合意をした上で、契約業者が関税を一時的に支払い、後日自治観光省より還付を受けることができる。空送の場合には、スレイマニア博物館から航空当局に対してレターを発行する必要がある。

通関手続きについては、契約業者が必要書類（インボイス、パッキングリスト、輸送書類、免税許可証等）を通関当局に提出し、手続きの所要日数は約1日である。通関に際しては、契約業者が通関当局に対して諸手数料（貨物検査料、適合証明書発行料、申告手数料）を支払う必要がある。

また、免税や輸入通関手続きを迅速に行うためには、イラク連邦内を通らずに輸送する必要がある（空送、トルコまたはイラン経由の海送・陸送）。

(6) 機材据付及び操作指導

計画されている機材のうち据付工事が必要となるものは、トラックライトシステム及びビデオモニターである。据付工事は、スレイマニア博物館への機材搬入後、日本または第三国から派遣された技術者の監督の下に行う。

また、保存修復機材については、日本または第三国から派遣された技術者による初期操作指導を実施する。

(7) 事業実施工程表

本事業の事業実施工程表は表-10のとおりである。

表-10 事業実施工程表

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
実施設計	交換公文 (E/N) 締結	▲																							
	贈与契約 (G/A) 締結	▲																							
	計画内容最終確認			■																					
	仕様書等レビュー			□																					
	入札図書作成				□																				
	入札図書確認						■																		
	業者契約締結											▽													
	業者契約認証											▽													
調達監理	発注										▽														
	機器製作											□													
	検査・船積み																					□			
	輸送																						▨		
	納入・開梱・据付工事																								■
	業務完了の確認																								▲

凡例：
 □ : 日本国内業務
 ▨ : 第三国業務
 ■ : 現地業務
 ▲▽ : 想定時期

3-3 相手国側負担事業の概要

本事業の実施にあたり、「イ」国 KRG 側の負担事項は表-11 のとおりである。

表-11 相手国側負担事項

項目	概算金額	
	外貨額	円貨換算額
支払授權書（A/P）発行に係る手数料 及び A/P に基づく送金手数料	-	約 165,000 円
機材設置場所の整備（仮保管スペース の片付け、既存機材の撤去、展示資料 の一時保管・収蔵、壁や天井の補修、 電気配線、説明パネルやキャプション の印刷）	確認中*	確認中*
銘板の作成	100～300 米ドル	約 40,000 円
本事業実施後の年間維持管理	約 300 米ドル	約 40,000 円

* 機材設置場所の整備については、KRG 自治観光省が必要となる費用を計算する予定。20,000 米ドル以上となる可能性があるが、同省が必要な費用を負担する旨確認している。

3-4 プロジェクトの運営維持管理計画

本事業全体の窓口はスレイマニア博物館館長及び館長代理で、機材の使用・運営管理・維持管理は博物館スタッフ全員が実施する。電気関連については、スレイマニア文化財局の電気技師が維持管理を実施する。本事業で整備される機材は、複雑な操作及び維持管理を要する機材ではないことから、能力面の問題はないと考えられる。また、機材の維持管理費用は、少額であり、同博物館の予算から支出することを確認した。

なお、アフターセールスサービスは日本、中東の近隣国または「イ」国内の支店や代理店を通して行うこととなる。

第4章 プロジェクトの評価

4-1 事業実施のための前提条件

当該地域の治安が悪化し輸送や実施に影響を与えないことが前提条件となる。

4-2 機材納入のために必要となる工事等

本実施が実施される場合には、出土品の仮保管スペースの片付け、既存展示ケース及び照明の廃棄、展示資料の一時保管、展示できなくなる資料の収蔵、壁や天井の補修（コンセント配線含む）、保存修復ラボラトリーへの追加電気配線、説明パネルやキャプションの印刷を行う必要がある。説明パネルやキャプションの印刷以外は、整備機材到着までに行う必要があり、約4か月かかると想定している。

4-3 プロジェクトの評価

4-3-1 妥当性

「イ」国政府は「国家開発計画 2018-2022」の「8.6 文化・観光・遺産保護」において、「歴史・文化遺産の保護及び遺跡の再生」を重点事項のひとつとして掲げている。さらに、2022年10月に発足した新政権の政府プログラムでは、高品質な教育機会の提供のための教育及び高等教育システムの達成、遺跡等への投資を通じた観光資源化による観光セクター開発・雇用創出を掲げている。また、KRG は、現政権の公約の中で、教育スタンダードの改善、文化意識の向上、高等教育の強化を掲げている。本事業の実施は、教育の質の向上や文化財保護に貢献するものであり、「イ」国政府及びKRG の上位計画に沿ったものである。

我が国の「対イラク共和国 国別開発協力方針」（2017年7月）においては、重点分野（中目標）に「生活基盤の整備」及び「経済成長のための産業の振興と多角化」を掲げている。本事業は、スレイマニア博物館の機材整備により、人材育成や文化財・遺産保護による地域活性化に寄与するものであることから、我が国の協力方針にも合致する。

また、なお、スレイマニア県では日本の大学からなる発掘調査団が複数活動していることから、スレイマニア博物館への支援は、KRG における我が国としてのビジビリティも高く、「イ」国政府との二国間関係のみならず、KRG との更なる関係強化に資するものである。

4-3-2 有効性

(1) 定量的効果

指標名	基準値 (2022年実績値)	目標値(2028年) (事業完成3年後)
良好で安全な環境下で展示される資料数(点) ^{注1}	0	500
カビやガスによる影響を受けにくい環境下で保全される収蔵資料数(点) ^{注2}	0	62,000

- 注1 Uruk to Ottoman ギャラリーで展示される予定の資料数。2022年9月現在の展示状況から推計した（行灯型展示ケース：2点×7式=14点、覗き型展示ケース：15～20点×27式=465点、展示台セット：5点×3式=15点）。博物館用の適切な照明と破損しにくい展示ケースにより良好かつ安全な環境下で展示される。現在は展示ケースのガラスが破損しやすく、覗き型展示ケースに子どもがもぐりこむなどの事象が生じている。
- 注2 収蔵庫に収蔵される予定の資料数。展示替えを適宜行うことから、収蔵庫に収蔵される最小数量を推計した。収蔵庫には、換気システムが整備されていないため、一部の資料やカビから出た臭いやガスが、他の資料に悪影響を与える可能性がある。

(2) 定性的効果

- 1) 展示資料の盗難遺失リスクが軽減される
- 2) 展示ケースの整備や破損防止対策により来館者の安全が確保される
- 3) 収蔵庫の空気がよりよくなり、人体への悪影響が軽減される
- 4) 保存修復処理の質が向上する

4-4 その他（広報、人材交流等）

4-4-1 相手国側による広報計画

本事業が実施された場合、KRG自治観光省及びスレイマニア博物館は日本からの支援を積極的に広報する計画である。具体的には以下のとおりである。

- 1) 引渡式の開催
- 2) 自治観光省及び同博物館ウェブページ、SNSを通じて日本支援について言及
- 3) 銘板の設置

4-4-2 その他

特になし。

【資料】

1. 調査団員・氏名

米田 元	団長	JICA イラク事務所
中村 陽子	機材計画	(一財) 日本国際協力システム
秋山 翔吾	機材調達・積算	(一財) 日本国際協力システム

2. 調査行程

No.	日付		旅程	業務内容	宿泊
1	9月16日	金	成田 22:30 (QR807) =>	移動	機内
2	9月17日	土	=> 04:25 ドーハ 18:30 (QR450) => 20:55 エルビル	移動	エルビル
3	9月18日	日		JICA エルビル出張所との協議 KRG 自治観光省/文化総局との協議 KRG 計画省への表敬訪問	エルビル
4	9月19日	月	エルビル => スレイマニア	JICA イラク事務所との協議 移動	スレイマニア
5	9月20日	火		スレイマニア博物館との協議 類似施設訪問	スレイマニア
6	9月21日	水		スレイマニア博物館との協議 現地代理店調査	スレイマニア
7	9月22日	木		ヤシン・テペ遺跡訪問 スレイマニア博物館との協議	スレイマニア
8	9月23日	金		市場調査 資料整理	スレイマニア
9	9月24日	土		類似施設訪問 資料整理	スレイマニア
10	9月25日	日		スレイマニア博物館との協議	スレイマニア
11	9月26日	月		スレイマニア博物館との協議	スレイマニア
12	9月27日	火	スレイマニア => エルビル	スレイマニア博物館及び類似施設訪問 移動	エルビル
13	9月28日	水		現地代理店調査 市場調査	エルビル
14	9月29日	木	エルビル 21:55 (QR451) =>	JICA エルビル出張所との協議 KRG 自治環境省との協議 移動	機内

No.	日付		旅程	業務内容	宿泊
15	9月30日	金	=> 00:15 ドーハ 01:55 (QR806) => 18:35 成田	移動	

3. 関係者（面会者）リスト

自治観光省

Jegre Mustafa Hamza

大臣室長

Kaifi Mustafa Ali

文化財総局長

計画省

Kanar Fadhil Hidayat

開発協力・調整局長

スレイマニア博物館

Hashim Hama Abdullah

館長

Nyan Nasir Hama Hassan

収蔵庫担当（館長代理）

ヤシン・テペ遺跡調査団

西山 伸一

中部大学人文学部教授

JICA イラク事務所

米田 元

所長

大野 廣三

企画調査員（エルビル出張所）

Jalal M. Abdullah

シニアプログラムマネージャー（エルビル出張所）

Amozhgar M. Hawezy

シニアプログラムマネージャー（エルビル出張所）

4. 討議議事録及び当初要請からの変更点

(1) 要請内容

KRG 自治観光省と合意した討議議事録は別添のとおりである。当初要請内容から削除・変更した機材は表-12、追加した機材は表-13 のとおりである。

表-12 当初要請内容から削除・変更した機材

機材名	数量	理由
壁面展示ケース	5 → 0	大掛かりな据付工事が必要なため削除
行灯型展示ケース	2 → 10	使用計画により数量変更
覗き型展示ケース	5 → 27	使用計画により数量変更
既存の展示ケースの改装費用	10 → 0	不要なため削除
展示用棚一式	1 → 0	展示ケースに含める
ライトコントロールシステム	1 → 0	不要なため削除
低反射フィルム	3 → 0	不要なため削除
展示パネル	10 → 0	展示ケースに含める
遺物説明用キャプション	70 → 0	展示ケースに含める
展示用プロジェクター	1 → 0	ビデオモニターに変更
天井部の補修用資材	1 → 0	供与対象外であるため削除
塗装の補強資材	1 → 0	供与対象外であるため削除
考古遺物保管用ケース	150 → 0	現地にて購入可能なため削除
保管用棚	10 → 0	不要なため削除
トータルステーション	1 → 0	使用計画、優先順位により削除
固定翼ドローン	1 → 0	使用計画、優先順位により削除
小型ドローン	1 → 0	既存で1台あるため削除
3D用画像用ソフト	1 → 0	使用計画、優先順位により削除
画像解析用コンピューター	1 → 0	使用計画、優先順位により削除
デジタルカメラ	1 → 0	既存で保有しているため削除
保存用ハードディスク	1 → 0	既存で保有しているため削除
空調機材	1 → 0	使用計画、優先順位により削除
作業台	1 → 0	使用計画、優先順位により削除
超音波洗浄器材	1 → 0	使用計画、優先順位により削除

表-13 当初要請内容に追加した機材

機材名	数量	理由
展示台セット	0 → 3	使用計画により追加
免震台	0 → 2	使用計画により追加
ビデオモニター	0 → 4	使用計画により追加
空気清浄機	0 → 1	使用計画により追加
蒸留水製造装置	0 → 1	使用計画により追加
恒温乾燥機	0 → 1	使用計画により追加

(注) 討議議事録に当初要請に含まれていなかった「編集ソフトウェア」、「小型昇降機」及び「携帯型蛍光 X 線分析装置 (XRF)」を追加したが、調査の結果、優先順位及び予算の制約等により最終的に削除した。免震台については、討議議事録では 4 台としていたが、行灯型展示ケースの大きさとの整合性により 2 台に変更した。空気清浄機については、討議議事録では 3 台としていたが、モデルにより適切な台数が異なることから、複数台で構成することとし、1 式とした。

(2) その他

案件名について、以下の通り変更となった。

【和文】

要請当初： 国立スレイマニア博物館展示機材整備計画

変更後： スレイマニア博物館における展示、保存及び修復のための機材整備計画

【英文】

要請当初： The Project for the Improvement of Exhibitions' Equipment and Display at the Slemani Museum

変更後： The Project for the Improvement of Equipment for Exhibition, Conservation and Restoration at the Slemani Museum

5. 参考資料

特になし。

6. その他の資料・情報

特になし。

**Minutes of Discussions
on the Preliminary Survey for the Project for
the Improvement of Equipment for Exhibition, Conservation and Restoration in
the Slemani Museum**

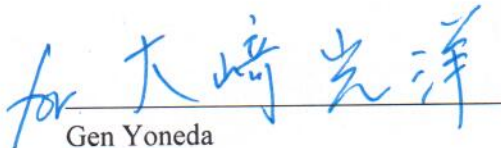
Based on the several preliminary discussions between the Kurdistan Regional Government – Iraq (hereinafter referred to as “the KRG”) and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) dispatched the Preliminary Survey Team (hereinafter referred to as “the Team”) of the Project for the Improvement of Equipment for Exhibition, Conservation and Restoration in the Slemani Museum (hereinafter referred to as “the Project”) to Kurdistan Region from September 17 to 29, 2022. The Team held a series of discussions with the officials of the KRG and conducted a field survey. In the course of the discussions, both sides have confirmed the main items described in the attached sheets.

It should be noted that the implementation of Preliminary Survey does not imply any decision or commitment by JICA to extend its grant for the Project at this Stage.

Erbil, September 29, 2022

For Japan International Cooperation Agency

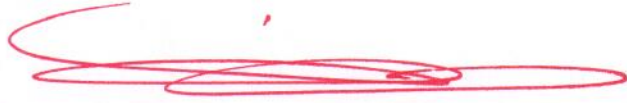
For Kurdistan Regional Government - Iraq



Gen Yoneda

Chief Representative

JICA Iraq Office



Sasan Awni

Minister of Municipality and Tourism



Kaifi Mustafa Ali

Director General of Antiquities & Heritage

Ministry of Municipality and Tourism

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to promote the improvement of the quality of the Slemani Museum by/through providing equipment necessary for exhibition, conservation and restoration, thereby contributing to the protection of cultural properties and the promotion of education and tourism sector of Kurdistan Region.

2. Title of the Preliminary Survey

Both sides confirmed the title of the Preliminary Survey as “the Preliminary Survey for the Project for the Improvement of Equipment for Exhibition, Conservation and Restoration in the Slemani Museum”.

3. Project site

Both sides confirmed that the site of the Project is in Slemani Museum, which is shown in Annex 1.

4. Responsible authority for the Project

Both sides confirmed the authorities responsible for the Project are as follows:

- 4-1. The Ministry of Municipality and Tourism of the KRG will be the executing agency for the Project (hereinafter referred to as “the Executing Agency”). The Executing Agency shall coordinate with all the relevant authorities to ensure smooth implementation of the Project and ensure that the undertakings for the Project shall be managed by relevant authorities properly and on time. The organization charts are shown in Annex 2.

5. Items requested by the KRG

- 5-1. As a result of discussions, both sides confirmed that the items requested by the KRG are as follows:

- Procurement of Equipment (The details of the requested items are listed in Annex 3.)
- Consultant Services (Tender documentation, supporting works for tender in Japan, and supervision of the Project)

- 5-2. JICA will assess the feasibility of the above requested items through the survey and will report the findings to the Government of Japan. The final scope of the Project will be decided by the Government of Japan.

- 5-3. The KRG through the Government of Iraq shall submit an official request to the Government of Japan through a diplomatic channel before the appraisal of the



Project, which is scheduled in November, 2022.

6. Expected outcomes and indicators

Both sides confirmed that, in case the Government of Japan decides to conduct the Project appraisal and the Project is implemented accordingly, the KRG side will be responsible for the achievement of agreed key indicators for expected outcome and shall monitor the progress based on those indicators. Both sides discussed the tentative key indicators are as follow during the field survey. It is further agreed that these indicators may be revised as the Preliminary Survey progresses, and the final version will be described on the Preliminary Survey Report.

[Quantitative Indicators]

Indicators	Baseline (Yr.2022)	Target (Yr. 2028) (3 years after the completion of the Project)
The number of objects in the gallery to be preserved in good and safe conditions	0	500
The number of objects in the gallery to be exhibited in secured conditions from the robbery	0	70
The number of objects in the gallery to be exhibited in safe conditions from earthquakes	0	4
The number of objects in the storage to be preserved in better conditions	0	62,000

[Qualitative Indicators]

- The risk of loss of the exhibited objects due to robbery will be reduced.
- The safety of visitors will be more guaranteed.
- The objects in the storage will be preserved for a longer time.
- The atmosphere of the storage will become better.
- The quality of the conserved and restored objects will be improved.

7. Procedures and Basic Principles of Japanese Grant

7-1. The KRG side agreed that the procedures and basic principles of Japanese Grant as described in Annex 4 shall be applied to the Project.

As for the monitoring of the implementation of the Project, JICA requires KRG side to submit the Project Monitoring Report that the form is attached as Annex 5.

7-2. The KRG side agreed to take the necessary measures and coordination, as

no



described in Annex 6, including allocation of the necessary budget which are the preconditions of smooth implementation of the Project. The costs to be borne by the KRG side specified on the Annex 6 are indicative. More accurate costs will be calculated at the Detailed Design stage.

It is further agreed that the contents of Annex 6 will be updated as the Preliminary Survey progresses, and eventually, will be used as an attachment to the Grant Agreement.

8. Schedule of the Survey

8-1. The KRG side approved the list of requested equipment (Annex 3), and in order to obtain an approval from the cabinet of Japan, the KRG side needs to confirm and agree to the final list of equipment prepared through the analysis work in Japan and later presented by the JICA Iraq office and/or the Embassy of Japan in Iraq around January, 2023.

8-2. An official request to the Government of Japan will be submitted by November 30, 2022.

8-3. JICA will prepare the Preliminary Survey Report in English and send it to KRG around May 2023.

8-4. The above schedule is tentative and subject to change.

9. Environmental and Social Considerations

9-1. The KRG side confirmed to give due environmental and social considerations during implementation, and after completion of the Project, in accordance with the JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010).

9-2. The Project is categorized as "C" from the following considerations:

Not located in a sensitive area, nor has it sensitive characteristics, nor falls it into sensitive sectors under the Guidelines, and its potential adverse impacts on the environment are not likely to be significant.

10. Other Relevant Issues

10-1. Responsibilities of KRG

10-1-1 After appraisal by the Government of Japan

Both sides confirmed that the KRG side shall promptly make preparations for the following in case that the Government of Japan decides to conduct the Project appraisal.

(1) To appoint a representative of the KRG and the Government of the Republic of Iraq to witness the tender before its notification.

(2) To secure the budget necessary for the purchase of repair parts and consumables, repair, and use/maintenance of the equipment procured under the



Project effectively and properly.

- (3) To refurbish the facilities and to secure appropriate storage space for the equipment procured under the Project, before their arrival.
- (4) To take necessary measure so that the customs duties, internal taxes and other fiscal levies as stipulated in 1. (2) No. 6 of Annex 6 will be exempted.

10-1-2 Project Completion and Ex-post monitoring

Both sides confirmed that, when the Government of Japan decides to conduct the Project appraisal and the Project is approved accordingly, KRG agrees to take the following measure upon the completion of the Project.

- (1) Both sides confirmed that the Project completes when all the equipment procured by the grant are in operation. The completion of the Project will be reported to JICA promptly, but in any event not later than six months after completion of the Project.
- (2) JICA will continually conduct ex-post monitoring after the project completion. The KRG side is required to provide necessary support for the data collection.

10-2. Publicity on the Cultural Grant Aid

The following activities will be carried out in recognition of the valuable contribution made by the people and the Government of Japan to the cultural development of Kurdistan Region.

- (1) To hold a handover ceremony
- (2) To publicize Japanese cooperation for the Project through relevant tools such as website and SNS of the Ministry of Municipality and Tourism and the Slemani Museum.
- (3) To install a Project title board in the gallery of the Slemani Museum.

Annex 1 Project Site

Annex 2 Organization Chart

Annex 3 List of Requested Equipment

Annex 4 Japanese Grant (for Cultural Grant Assistance)

Annex 5 Project Monitoring Report (template)

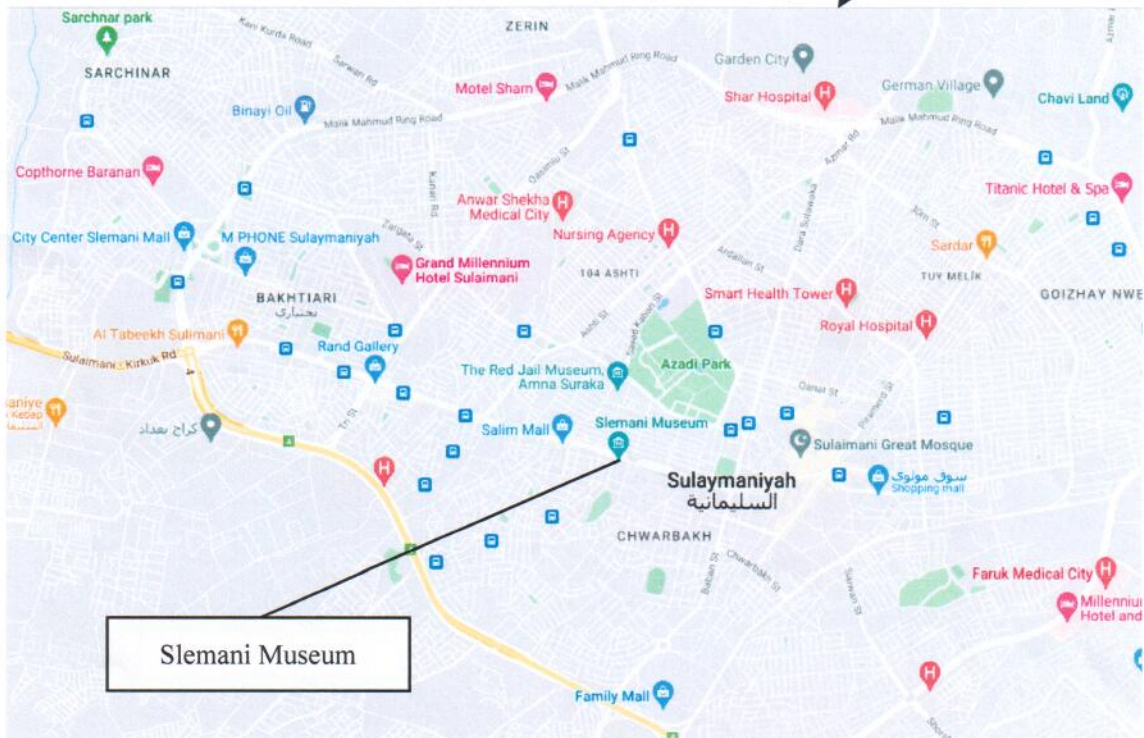
Annex 6 Major Undertakings to be taken by the Kurdistan Regional Government



Project Site



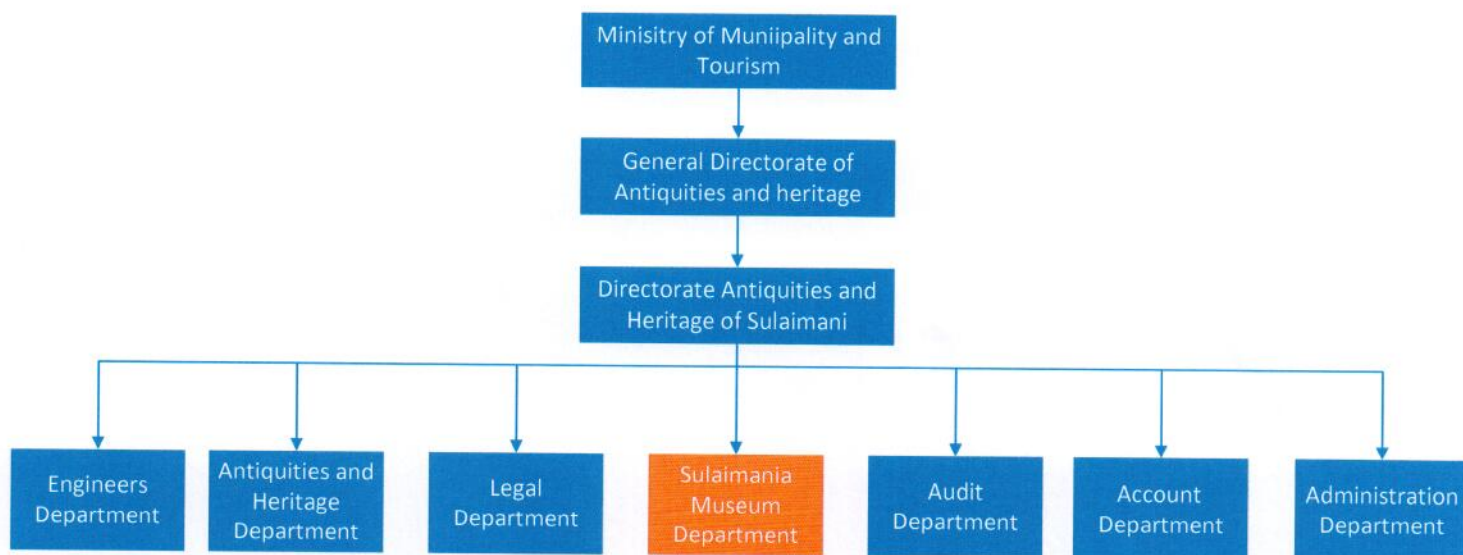
Sulaymaniyah



Slemani Museum

no

Annex 2



[Handwritten signatures in green and red ink]

List of Requested Equipment

Classification	No.	Equipment name	Q'ty	Priority
Exhibition	1	Free standing display case	10 sets	A
	2	Table display case	27 sets	A
	3	Free standing display set	3 sets	A
	4	Seismic isolation system	4 units	A
	5	Track light system	1 set	A/B
	6	Video monitor	4 sets	B:3 D:1
	7	Software for editing	1 set	E
Storage	8	Air cleaner	3 units	A
	9	Small elevator	1 unit	E
Conservation and restoration	10	Handheld X-ray fluorescence (XRF) spectrometer	1 unit	C
	11	Water distillation apparatus	1 unit	C
	12	Electric kiln	1 unit	C
	13	Stereo microscope	1 set	C
	14	Heating oven	1 unit	D

ms




JAPANESE GRANT
(for Cultural Grant Assistance)

The Japanese Grant is non-reimbursable fund provided to a recipient country (hereinafter referred to as “the Recipient”) to purchase the products and/or services (engineering services and transportation of the products, etc.) for its economic and social development in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Followings are the basic features of the project grants operated by JICA (hereinafter referred to as “Project Grants”).

1. Procedures of Project Grants

Project Grants are conducted through following procedures (See “PROCEDURES OF JAPANESE GRANT” for details):

(1) Preparation

- The Preliminary Survey (hereinafter referred to as “the Survey”) conducted by JICA

(2) Appraisal

-Appraisal by the government of Japan (hereinafter referred to as “GOJ”) and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet

(3) Implementation

Exchange of Notes

-The Notes exchanged between the GOJ and the government of the Recipient

Grant Agreement (hereinafter referred to as “the G/A”)

-Agreement concluded between JICA and the Recipient

Banking Arrangement (hereinafter referred to as “the B/A”)

-Opening of bank account by the Recipient in a bank in Japan (hereinafter referred to as “the Bank”) to receive the grant

Construction works/procurement

-Implementation of the project (hereinafter referred to as “the Project”) on the basis of the G/A

(4) Ex-post Monitoring and Evaluation

-Monitoring and evaluation at post-implementation stage

2. Preliminary Survey

(1) Contents of the Survey

The aim of the Survey is to provide basic documents necessary for the appraisal of the the Project made by the GOJ and JICA. The contents of the Survey are as follows:



- Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of relevant agencies of the Recipient necessary for the implementation of the Project.
- Evaluation of the feasibility of the Project to be implemented under the Japanese Grant from a technical, financial, social and economic point of view.
- Confirmation of items agreed between both parties concerning the basic concept of the Project.
- Preparation of an outline design of the Project.
- Estimation of costs of the Project.
- Confirmation of Environmental and Social Considerations

The contents of the original request by the Recipient are not necessarily approved in their initial form. The Outline Design of the Project is confirmed based on the guidelines of the Japanese Grant.

JICA requests the Recipient to take measures necessary to achieve its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the executing agency of the Project. Therefore, the contents of the Project are confirmed by all relevant organizations of the Recipient based on the Minutes of Discussions.

(2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA contracts with (a) consulting firm(s). JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms.

(3) Result of the Survey

JICA reviews the report on the results of the Survey and recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project after confirming the feasibility of the Project.

3. Basic Principles of Project Grants

(1) Implementation Stage

1) The E/N and the G/A

After the Project is approved by the Cabinet of Japan, the Exchange of Notes (hereinafter referred to as "the E/N") will be signed between the GOJ and the Government of the Recipient to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Recipient to define the necessary articles, in accordance with the E/N, to implement the Project, such as conditions of disbursement, responsibilities of the Recipient, and procurement conditions. The terms and conditions generally applicable to the Japanese Grant are stipulated in the "General Terms

25



and Conditions for Japanese Grant (January 2016).”

2) Banking Arrangements (B/A) (See “Financial Flow of Japanese Grant (A/P Type)” for details)

- a) The Recipient shall open an account or shall cause its designated authority to open an account under the name of the Recipient in the Bank, in principle. JICA will disburse the Japanese Grant in Japanese yen for the Recipient to cover the obligations incurred by the Recipient under the verified contracts.
- b) The Japanese Grant will be disbursed when payment requests are submitted by the Bank to JICA under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Recipient.
- c) The Recipient should bear an advising commission of an A/P and payment commissions paid to the Bank.

3) Procurement Procedure

The products and/or services necessary for the implementation of the Project shall be procured in accordance with JICA's procurement guidelines as stipulated in the G/A.

4) Selection of Consultants

In order to maintain technical consistency, the consulting firm(s) which conducted the Survey will be recommended by JICA to the Recipient to continue to work on the Project's implementation after the E/N and G/A.

5) Eligible source country

In using the Japanese Grant disbursed by JICA for the purchase of products and/or services, the eligible source countries of such products and/or services shall be Japan and/or the Recipient. The Japanese Grant may be used for the purchase of the products and/or services of a third country as eligible, if necessary, taking into account the quality, competitiveness and economic rationality of products and/or services necessary for achieving the objective of the Project. However, the prime contractors, namely, constructing and procurement firms, and the prime consulting firm, which enter into contracts with the Recipient, are limited to "Japanese nationals", in principle.

6) Contracts and Concurrence by JICA

The Recipient will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be concurred by JICA in order to be verified as eligible for using the Japanese Grant.

7) Monitoring

The Recipient is required to take their initiative to carefully monitor the progress of the Project in order to ensure its smooth implementation as part of their responsibility in the G/A, and to regularly report to JICA about its status by using the Project Monitoring Report (PMR).

8) Safety Measures

The Recipient must ensure that the safety is highly observed during the implementation of the Project.

9) Construction Quality Control Meeting

no



Construction Quality Control Meeting (hereinafter referred to as the "Meeting") will be held for quality assurance and smooth implementation of the Works at each stage of the Works. The member of the Meeting will be composed by the Recipient (or executing agency), the Consultant, the Contractor and JICA. The functions of the Meeting are as followings:

- a) Sharing information on the objective, concept and conditions of design from the Contractor, before start of construction.
- b) Discussing the issues affecting the Works such as modification of the design, test, inspection, safety control and the Client's obligation, during of construction.

(2) Ex-post Monitoring and Evaluation Stage

- 1) After the project completion, JICA will continue to keep in close contact with the Recipient in order to monitor that the outputs of the Project is used and maintained properly to attain its expected outcomes.
- 2) In principle, JICA will conduct ex-post evaluation of the Project after three years from the completion. It is required for the Recipient to furnish any necessary information as JICA may reasonably request.

(3) Others

1) Environmental and Social Considerations

The Recipient shall carefully consider environmental and social impacts by the Project and must comply with the environmental regulations of the Recipient and JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010).

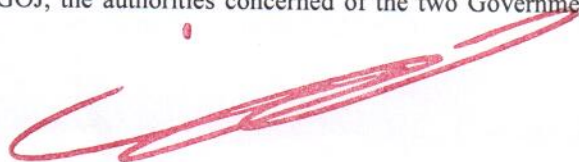
2) Major undertakings to be taken by the Government of the Recipient

For the smooth and proper implementation of the Project, the Recipient is required to undertake necessary measures including land acquisition, and bear an advising commission of the A/P and payment commissions paid to the Bank as agreed with the GOJ and/or JICA. The Government of the Recipient shall ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the Recipient with respect to the purchase of the Products and/or the Services be exempted or be borne by its designated authority without using the Grant and its accrued interest, since the grant fund comes from the Japanese taxpayers.

3) Measures to ensure more efficient implementation of the Grant

- i) In the event that the E/N and the G/A concerning a project cannot be signed by the end of the following Japanese fiscal year of the cabinet decision concerned by the GOJ, the authorities concerned of the two Governments will

no



discuss the cancellation of the project.

ii) In the event that the period, specified in the G/A, during which the grant is available expires before the completion of the disbursement, the authorities concerned of the GOJ will thoroughly review the status, situation and perspective of the implementation of the project concerned before extending the said period. The authorities concerned of the two Governments will discuss the termination of the project including a refund, unless there are concrete prospects for its completion.

iii) Regardless of the period mentioned in 2) above, the authorities concerned of the two Governments will, in the event that five years have passed since the cabinet decision concerned by the GOJ before the completion of the disbursement, except as otherwise confirmed between them, discuss the termination of a project including a refund, unless there are concrete prospects for its completion.

4) Proper Use

The Recipient is required to maintain and use properly and effectively the products and/or services under the Project (including the facilities constructed and the equipment purchased), to assign staff necessary for this operation and maintenance and to bear all the expenses other than those covered by the Japanese Grant.

5) Export and Re-export

The products purchased under the Japanese Grant should not be exported or re-exported from the Recipient.

no



**PROCEDURES OF JAPANESE GRANT
(for Cultural Grant Assistance)**

Stage	Procedures	Remarks	Recipient Government	Japanese Government	JICA	Consultants	Contractors	Agent Bank
Official Request	Request for grants through diplomatic channel	Request shall be submitted before appraisal stage.	x	x				
1. Preparation	(1) Preliminary Survey Preparation of outline design including cost estimate, undertakings, etc.		x		x	x		
2. Appraisal	(2) Confirmation of equipment list	Japanese Government will confirm with the Recipient Government the equipment list prepared based on the results of the Preliminary Survey.	x	x	(x)			
	(3) Agreement on conditions for implementation	Conditions will be explained with the draft notes (E/N) and Grant Agreement (G/A) which will be signed before approval by Japanese government.	x	x (E/N)	x (G/A)			
	(4) Approval by the Japanese cabinet			x				
3. Implementation	(5) Exchange of Notes (E/N)		x	x				
	(6) Signing of Grant Agreement (G/A)		x		x			
	(7) Banking Arrangement (B/A)	Need to be informed to JICA	x					x
	(8) Contracting with consultant and issuance of Authorization to Pay (A/P)	Concurrence by JICA is required	x			x		x
	(9) Detail design (D/D)		x			x		
	(10) Preparation of bidding documents	Concurrence by JICA is required	x			x		
	(11) Bidding	Concurrence by JICA is required	x			x	x	
	(12) Contracting with contractor/supplier and issuance of A/P	Concurrence by JICA is required	x				x	x
	(13) Construction works/procurement	Concurrence by JICA is required for major modification of design and amendment of contracts.	x			x	x	
	(14) Completion certificate		x			x	x	
4. Ex-post monitoring & evaluation	(15) Ex-post monitoring	To be implemented generally after 1, 3, 10 years of completion, subject to change	x		x			
	(16) Ex-post evaluation	To be implemented basically after 3 years of completion	x		x			

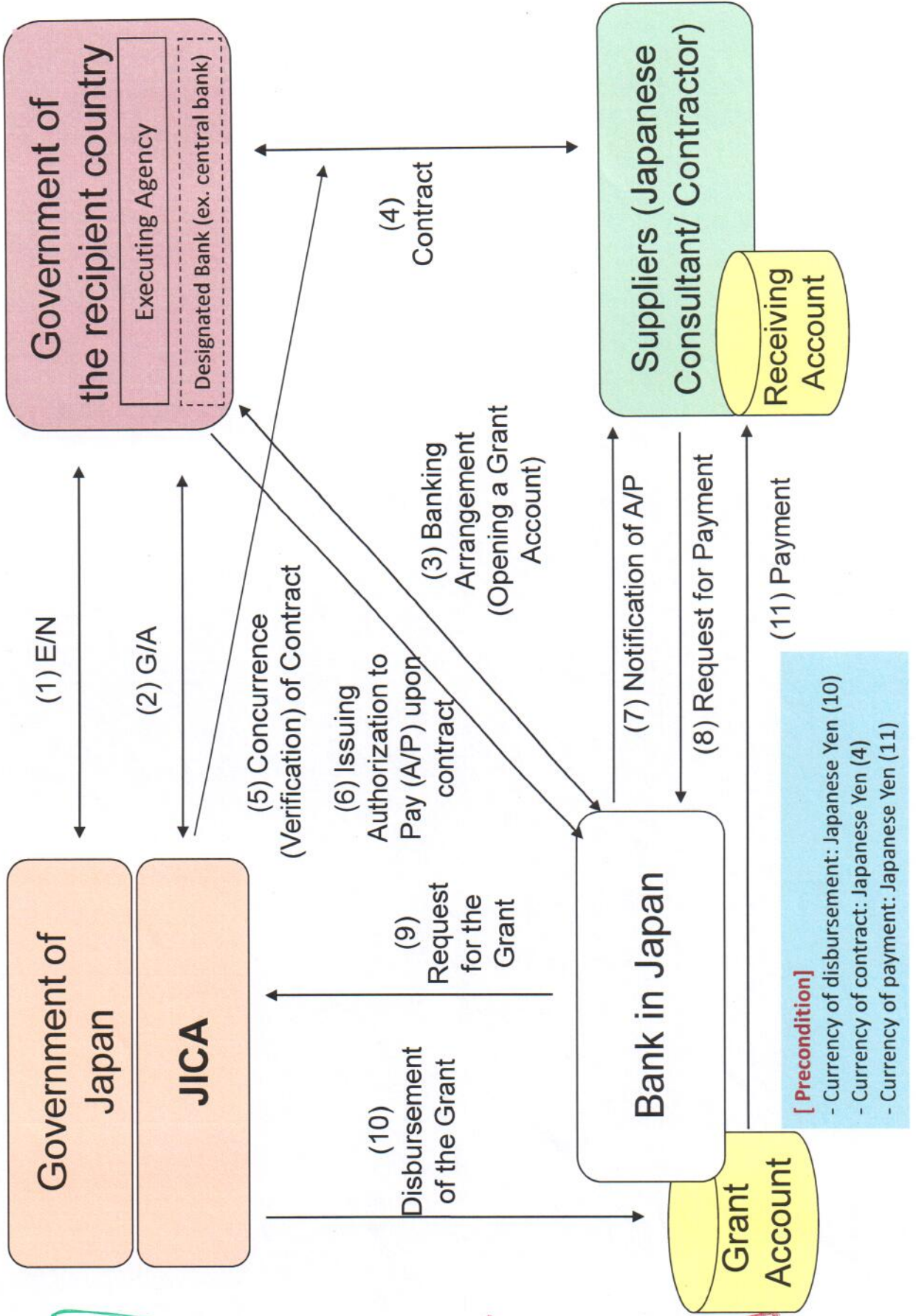
notes:

1. Project Monitoring Report and Report for Project Completion shall be submitted to JICA as agreed in the G/A.
2. Concurrence by JICA is required for allocation of grant for remaining amount and/or contingencies as agreed in the G/A.





Financial Flow of Japanese Grant (A/P Type)



Project Monitoring Report
on
Project Name
Grant Agreement No. XXXXXXXX
20XX, Month

Organizational Information

Signer of the G/A (Recipient)	_____ Person in Charge (Designation) _____ _____ Contacts <u>Address:</u> _____ <u>Phone/FAX:</u> _____ <u>Email:</u> _____
Executing Agency	_____ Person in Charge (Designation) _____ _____ Contacts <u>Address:</u> _____ <u>Phone/FAX:</u> _____ <u>Email:</u> _____
Line Ministry	_____ Person in Charge (Designation) _____ _____ Contacts <u>Address:</u> _____ <u>Phone/FAX:</u> _____ <u>Email:</u> _____

General Information:

Project Title	
E/N	Signed date: Duration:
G/A	Signed date: Duration:
Source of Finance	Government of Japan: Not exceeding JPY _____ mil. Government of (_____): _____

20




1: Project Description

1-1 Project Objective

1-2 Project Rationale

- Higher-level objectives to which the project contributes (national/regional/sectoral policies and strategies)
- Situation of the target groups to which the project addresses

1-3 Indicators for measurement of "Effectiveness"

Quantitative indicators to measure the attainment of project objectives		
Indicators	Original (Yr)	Target (Yr)
Qualitative indicators to measure the attainment of project objectives		

2: Details of the Project

2-1 Location

Components	Original <i>(proposed in the outline design)</i>	Actual
1.		

2-2 Scope of the work

Components	Original* <i>(proposed in the outline design)</i>	Actual*
1.		

Reasons for modification of scope (if any).

(PMR)

2-3 Implementation Schedule

Items	Original		Actual
	<i>(proposed in the outline design)</i>	<i>(at the time of signing the Grant Agreement)</i>	

Reasons for any changes of the schedule, and their effects on the project (if any)

2-4 Obligations by the Recipient

2-4-1 Progress of Specific Obligations

See Attachment 2.

2-4-2 Activities

See Attachment 3.

2-4-3 Report on RD

See Attachment 11.

2-5 Project Cost

2-5-1 Cost borne by the Grant(Confidential until the Bidding)

Components			Cost (Million Yen)	
	Original <i>(proposed in the outline design)</i>	Actual <i>(in case of any modification)</i>	Original ^(1,2) <i>(proposed in the outline design)</i>	Actual
	1.			
Total				

Note: 1) Date of estimation:
 2) Exchange rate: 1 US Dollar = Yen

2-5-2 Cost borne by the Recipient

Components			Cost	
	Original <i>(proposed in the outline design)</i>	Actual <i>(in case of any modification)</i>	Original ^(1,2) <i>(proposed in the outline design)</i>	Actual
	1.			

- Note: 1) Date of estimation:
2) Exchange rate: 1 US Dollar =

Reasons for the remarkable gaps between the original and actual cost, and the countermeasures (if any)

(PMR)

2-6 Executing Agency

- Organization's role, financial position, capacity, cost recovery etc,
- Organization Chart including the unit in charge of the implementation and number of employees.

Original (at the time of outline design)

name:

role:

financial situation:

institutional and organizational arrangement (organogram):

human resources (number and ability of staff):

Actual (PMR)

2-7 Environmental and Social Impacts

- The results of environmental monitoring based on Attachment 5 (in accordance with Schedule 4 of the Grant Agreement).
- The results of social monitoring based on in Attachment 5 (in accordance with Schedule 4 of the Grant Agreement).
- Disclosed information related to results of environmental and social monitoring to local stakeholders (whenever applicable).

3: Operation and Maintenance (O&M)

3-1 Physical Arrangement

- Plan for O&M (number and skills of the staff in the responsible division or section, availability of manuals and guidelines, availability of spareparts, etc.)

Original (at the time of outline design)

Actual (PMR)

3-2 Budgetary Arrangement

- Required O&M cost and actual budget allocation for O&M

Original (at the time of outline design)

Actual (PMR)

4: Potential Risks and Mitigation Measures

- Potential risks which may affect the project implementation, attainment of objectives, sustainability
- Mitigation measures corresponding to the potential risks

Assessment of Potential Risks (at the time of outline design)

Potential Risks	Assessment
1. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low
	Impact: High/Moderate/Low
	Analysis of Probability and Impact:
	Mitigation Measures:
	Action required during the implementation stage:
2. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low
	Impact: High/Moderate/Low
	Analysis of Probability and Impact:
	Mitigation Measures:
	Action required during the implementation stage:
3. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low
	Impact: High/Moderate/Low
	Analysis of Probability and Impact:
	Mitigation Measures:
	Action required during the implementation stage:

nt

	Contingency Plan (if applicable):
Actual Situation and Countermeasures	
(PMR)	

5: Evaluation and Monitoring Plan (after the work completion)

5-1 Overall evaluation

Please describe your overall evaluation on the project.

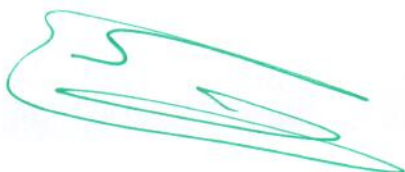
5-2 Lessons Learnt and Recommendations

Please raise any lessons learned from the project experience, which might be valuable for the future assistance or similar type of projects, as well as any recommendations, which might be beneficial for better realization of the project effect, impact and assurance of sustainability.

5-3 Monitoring Plan of the Indicators for Post-Evaluation

Please describe monitoring methods, section(s)/department(s) in charge of monitoring, frequency, the term to monitor the indicators stipulated in 1-3.

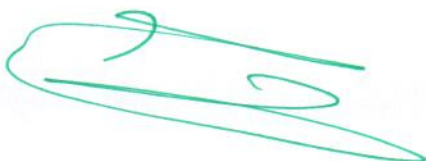
25



Attachment

1. Project Location Map
2. Specific obligations of the Recipient which will not be funded with the Grant
3. Report of Pre-shipment Inspection submitted by the Consultant
4. Check list for the Contract (including Record of Amendment of the Contract/Agreement and Schedule of Payment)
5. Report on Proportion of Procurement (Recipient Country, Japan and Third Countries) (PMR (final) only)
6. Pictures (by JPEG style by CD-R) (PMR (final) only)
7. Equipment List (PMR (final) only)
8. Drawing (PMR (final) only)

20

A green ink signature, appearing to be a stylized name or set of initials, written in a cursive or calligraphic style.

7

A red ink signature, appearing to be a stylized name or set of initials, written in a cursive or calligraphic style.

Report on Proportion of Procurement (Recipient Country, Japan and Third Countries)
 (Actual Expenditure by Construction and Equipment each)

	Domestic Procurement (Recipient Country) A	Foreign Procurement (Japan) B	Foreign Procurement (Third Countries) C	Total D
Construction Cost	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Direct Construction	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Cost others	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Equipment Cost	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Design and Supervision Cost	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Total	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	

Major Undertakings to be taken by the Kurdistan Regional Government

1. Specific obligations of the Kurdistan Regional Government which will not be funded with the Grant

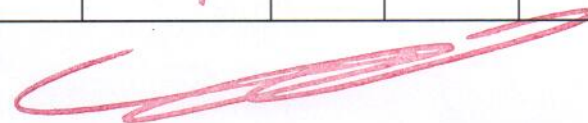
(1) Before the Bidding

NO	Items	Deadline	In charge	Cost	Ref.
1	To sign the banking arrangement (B/A) with a bank in Japan (the Agent Bank) to open bank account for the Grant	within 1 month after the signing of G/A	MoMT	-	
2	To issue A/P to the Agent Bank for the payment to the consultant	within 1 month after the signing of the contract(s)	MoMT	-	
3	To bear the following commissions to the Agent Bank for the banking services based upon the B/A				
	1) Advising commission of A/P	within 1 month after the signing of the contract	MoMT	JPY10,000	
	2) Payment commission for A/P	every payment	MoMT	Approx. JPY25,000 (total)	
4	To submit Project monitoring Report (with the result of Detail Design)	before preparation of the bidding documents	MoMT	-	
5	To appoint a representative of the Kurdistan Regional Government and the Government of the Republic of Iraq to witness the bidding before its notification	Before the notification of the bidding	MoMT	-	

(2) During the Project Implementation

NO	Items	Deadline	In charge	Cost	Ref.
1	To issue A/P to the Agent Bank for the payment to the supplier and the contractor	within 1 month after the signing of the contract	MoMT	-	
2	To bear the following commissions to the Agent Bank for the banking services based upon the B/A				
	1) Advising commission of A/P	within 1 month after the signing of the contract	MoMT	JPY10,000	
	2) Payment commission for A/P	every payment	MoMT	Approx. JPY120,000 (total)	
3	To refurbish the facilities and to secure appropriate storage space for the equipment procured under the Project (*)	before the arrival of the equipment	Museum / DGoAH / MoMT	To be calculated	
	1) To remove objects kept in the far end space of the left wing gallery				
	2) To dismantle and take out old showcase from the left wing gallery				
	3) To remove old lights of the left wing gallery				
	4) To remove exhibited objects from the left wing gallery				
	5) To buy boxes for the objects to be stored				
	6) To plaster walls and ceiling of the left wing gallery (including setting electrical outlets)				
	7) To paint walls and ceiling of the left wing gallery				

no

	8) To install electrical wiring at the laboratory				
	9) To print explanation sheets for panels and labels				
4	To ensure prompt customs clearance and to assist the Supplier(s) with internal transportation in the country of the Recipient	during the Project	MoMT / KRG	-	
5	To accord Japanese physical persons and/or physical persons of third countries whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the country of the Recipient and stay therein for the performance of their work	during the Project	MoMT / KRG	-	
6	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the country of the Recipient with respect to the purchase of the Products and/or the Services be exempted.	during the Project	MoMT / KRG	-	
7	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project.	during the Project	MoMT	-	
8	1) To submit Project Monitoring Report after each work under the contract(s) such as shipping, hand over, installation and operational training	within one month after completion of each work	MoMT	-	
	2) To submit Project Monitoring Report (final) (including equipment list, photographs, etc.)	within 1 month after issuance of Certificate of Completion for the works under the contract(s)	MoMT	-	
9	To submit a report concerning completion of the Project	within 6 months after completion of the Project	MoMT	-	
10	To ensure the safety of persons engaged in the implementation of the Project (**)	during the Project	Museum	-	

(3) After the Project

NO	Items	Deadline	In charge	Cost	Ref.
1	To maintain and use properly and effectively the equipment provided under the Grant Aid 1) Allocation of maintenance cost, including the budget necessary for the purchase of repair parts and consumables, repair, and use/maintenance of the equipment 2) Operation and maintenance structure 3) Routine check/Periodic inspection	After completion of the Project	Museum	USD300/year	
2	To hold a handover ceremony	After completion of the Project	Museum / DGoAH / MoMT	-	
3	To publicize Japanese cooperation for the Project through relevant tools such as website and SNS of the Ministry of Municipality and Tourism and the Slemani Museum	After completion of the Project	Museum / DGoAH / MoMT	-	
4	To install a Project title board in the gallery of the Slemani Museum.	After completion of the Project	Museum	USD100 - 300	
5	To monitor the progress based on quantitative and qualitative indicators	Target Year: 3 years after the completion of the Project	Museum / DGoAH	-	

(B/A: Banking Arrangement, A/P: Authorization to pay, N/A: Not Applicable)

(KRG: Kurdistan Regional Government, MoMT: Ministry of Municipality and Tourism of KRG, DGoAH: Directorate General of Antiquities & Heritage, Museum: Slemani Museum)

* The amount to be borne by the KRG side will be calculated later due to price fluctuation, however, the KRG side confirmed the budget allocation for the amount necessary for the Project.

** The safety of persons at the Project site will be ensured.

25




2. Other obligations of the Kurdistan Regional Government funded with the Grant

No	Items	Deadline	Cost Estimated (Million Japanese Yen)*	Ref.
1	To provide equipment with installation and initial training		To be calculated	
	1) To conduct the following transportation			
	a) Marine or air transportation of the products from Japan to the country of Recipient			
	b) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site			
	2) Cost for installation and set-up of the equipment at the project site			
	3) Cost for initial training at the project site			
2	To implement detailed design, bidding support and procurement supervision (Consulting Service)		To be calculated	
	Total		To be calculated	

*; The Amount is provisional. This is subject to the approval of the Government of Japan.

no